5社5技術者を表彰

柏市水道の優良建設工事

柏市上下水道局は28日、優良建設工事表彰式を同局庁舎で開いた。請負金額が500万円以上の建設工事で、2023年度に完成した工事55件から5工事を厳選。施工した5社と各技術者に、同局の飯田晃一上下水道事業管理者から、それぞれ表彰状が手渡されている。

表彰後、飯田上下水道事業管理者㊨に向けて謝辞を奉読する吉田代表取締役ら受賞者

飯田事業管理者

式典冒頭、飯田上下水道事業管理者は、地域の建設企業が常日頃から市の水道事業に協力してくれていることに感謝。その上で「この表彰は、皆さんの仕事に対する真摯な取り組み姿勢の表れ」と、その大きな成果をたたえると「今後とも技術の研さん、安全、適切な施工管理に努められ、他の模範となる質の高い工事を期待している」とあいさつした。

受賞者を代表し、入吉田工業の吉田孝幸代表取締役は、上下水道工事をはじめとした昨今の建設業界を取り巻く厳しい状況に言及しながらも、今回の受賞は「私たち企業に勇気と自信をもたらし、大きな励みとなり、さらに先へ進む活力をいただけた」と謝辞を述べ、今後も安全な施工はもとより、さらなる技術の向上に努め、地域の建設企業として市の発展に貢献していくことを約束している。

表彰の概要は次の通り。▽施工者＝①工事名②技術者――の順（敬称略）。

【水道施設工事】▽タケダ興業＝①配水管改良工事（4-6-2）②高橋学

【土木一式工事】▽岡野組＝①柏北部第1-2処理分区汚水枝線工事（5-2工区）②菊嶋光▽真工業＝①柏北部第4処理分区汚水枝線工事（4-5工区）②坂巻正巳▽入吉田工業＝①大堀川左岸第2排水区雨水枝線改築工事（4-72工区）②柳澤康▽丸昭開発工事＝①柏第6処理分区汚水枝線工事（4-4工区）②紺野勲

建設業の力を発揮

富津岬　重機投入で清掃

千建協君津支部

漂着物などの大型ごみの運搬には重機が使われた

上野所長

石村支部長

県建設業協会君津支部（石村達雄支部長）は26日、富津市富津岬の下洲海岸で、ホイールローダ2台の重機を投入したボランティア清掃活動を実施した。県内外から多くの観光客が訪れる海水浴シーズンを前に、毎年実施している活動で、今回で15回目を迎えた。君津支部をはじめ、県君津土木事務所、県中部林業事務所、富津市、富津市管工事業協組、富津市建設業協組、富津市測量設計業協組、富津電業会、新富津漁業協組から総勢約160人が参加した。

ホイールローダは石村建設、渡辺工務店、ダンプは伊藤土建、軽トラックは我妻建設、興和建設、安川組がそれぞれ提供した。石村支部長は、重機を投入しての清掃活動に対して「まさに建設業ができる活動だ」などと建設業としての地域貢献に意欲を見せた。「漂着物の7割は、側溝や水路を伝わって市街地から流出していると聞く。きょうの活動で、ごみを出さないという気持ちをもう一度振り返って日常生活を送ってほしい」などと、きれいな海岸になることに期待を込めた。

県君津土木事務所の上野兼通所長は「夏の海水浴シーズンが始まる。県内外からの観光客を迎えるためには、海岸の美化活動は非常に重要だ」と活動に意義を強調。富津市の高橋恭市市長は「重機を入れた清掃活動はなかなかできない。富津の海岸清掃はボランティアに支えられている。重機を投入する大規模な清掃活動は稀で、非常にありがたく感じる。けがや熱中症に注意しながら美しい砂浜にしよう」と、参加者に呼びかけた。

高橋市長

支部や富津市建設関連5団体連合会のメンバーらは、ごみ袋と火ばさみを手に、広大な浜辺約1㎞を歩いて清掃。いっぱいになったごみ袋は、後続の軽トラックが回収に当たった。砂浜に漂着した流木をはじめとする空き缶やペットボトル、包装容器を丁寧に拾い集めたほか、会員企業が重機を出動させるなど建設業者ならではの機動力と手際のよさで大型のごみを回収した。

1時間かけて海岸美化に努めた

地域の守り手として活躍する参加メンバー

手作業で回収の難しい漂着した流木や漁網などの大型ごみは、ホイールローダ2台を駆使して収集するなど、協会員による熟練の技術が光る活動となった。

参加者からは「雨の影響で砂浜に流木が多いと感じる。プラスチックなどの人工物は少ない。利用者のマナー向上や毎年の活動の成果が出ていると感じる」などの声が聞かれた（参加した建設関連団体のメンバーは後日掲載予定）。

支部長に戸邉氏

建災防県支部　通常総会　交通事故含め労災撲滅

戸邉支部長

建設業労働災害防止協会（建災防）県支部の通常総会が千葉市内のホテルで開かれ、23年度の事業、決算報告とともに、24年度事業計画案が承認された。役員改選では、新たに戸邉昌之氏が支部長に選任された。戸邉支部長は3日の総会で、交通事故を含めた労災撲滅に全力で取り組むなどとの決意を示した。

24年度は①「墜落・転落災害」を中心とした三大災害防止対策②交通事故防止対策並びに転倒事故防止対策③改修等工事も含め施工計画と一体なったリスクアセスメントの実施④作業従事者のメンタルヘルスを含めた健康の保持・増進⑤会員加入の促進―を柱に事業を展開する。

建設投資は総体として堅調に推移しているとしながらも、技能、技術労働者の慢性的な不足や高齢化の進展、労働力不足に対応するための外国人労働者の受け入れ拡大など、労働災害の要因が増加する中で、労災防止対策を進める方針だ。

会員の加入促進と転落災害防止などに取り組む姿勢を示した総会

また、特に重篤な災害が発生した非会員の事業所に対して、支部と分会が連携するとともに、行政の協力を得ながら加入促進に取り組むことで、労災撲滅を図る構えだ。

新役員は次の通り（敬称略）。

▽支部長＝戸邉昌之（愛宕建設工業）▽副支部長＝松本信夫（キミツ鐵構建設）、鎌形憲一（鎌形建設）、廣瀬淳一（大成建設）、山内一信（山内工業）▽専務理事＝堀内利男（県支部）▽常任理事＝高山貴子（本田土木工業）、鈴木博成（鈴木建設）、渡辺雄二（渡辺建設）、平野一隆（平建設）、鈴木定壱（鈴木組）、鈴木慶一郎（鈴木工務店）、北村明典（県支部）

MAVERICK
建築土木
現場警備
㈱マーベリック
（千葉県警備業協会員）
千葉ガードセンター
TEL. 043-264-1884

習志野市インフラ協

香澄小学校で　ポンプなど水道の仕組み

児童に管工事業PR

習志野市の管工事業者で構成する習志野市インフラ協議会（岩井健会長）は、習志野市の香澄小学校（柳澤しのぶ校長）で、4年生の児童約40人を対象に出前授業を27日に開催した。同市議会の佐々木秀一議長らも駆け付ける中、「水を届ける」をテーマに掲げ、普段身近な「水」が流れる仕組みやパイプとポンプの役割、人々の暮らしを支える管工事業について、さらなるPRを図っている。

同協議会の出前授業は昨年スタートし、今年度は習志野市制施行70周年記念冠事業に設定。小学校5校での授業を推進している。第2回目となる香澄小学校の授業では、ポンプなどを製造するテラル（広島県福山市）が協力。同社の技術本部先端技術ユニット基盤研究課基盤研究グループの増田夏泉氏と、管理本部人事部人事課長の村山なほ氏らが案内役をつとめた。

岩井会長

ポンプ実験では、児童らも手伝い理解を深めた

冒頭、同授業を企画した岩井会長はあいさつに立つと「今日は普段と違い、教科書に載っていない学習を行う」とし、その概要を説明。「楽しみながら、学んでいこう」と呼びかけ、出前授業をスタートさせた。

授業は「水はどのように運ばれるか」といった問いかけを交えながら進行。「低い所から高い所に向けて水が届くか」を実験で検証し、水の入った容器を低くすると、容器につながったチューブ先の蛇口を開けても水が出ないことを確かめた。

これに続き、低い所から高い所に水を届ける役割を、機械式のポンプが担っていることを解説し、中の様子が見える同社特製の実験用ポンプで、水の流れを児童らと一緒に観察した。実験のためパイプ中に入れたスーパーボールが水圧で約2mの高さまで少しずつ上るたびに、子どもたちからは「がんばれ」など大きな声援があがるとともに、その実験結果に驚きの言葉も聞かれた。

村山講師

増田講師

パイプなどの基本的な役割を紹介

講師は、同ポンプを使うと約20mの高さまで、同社の大型ポンプなら約250mまで水を届けることができることも説明。最後に、消火ポンプや給水ポンプ、ろ過ポンプ、深井戸給水ポンプなどさまざまなポンプやパイプが日々の生活などに密着していることを伝えるとともに、その重要性を知ってほしいとまとめた。

佐々木議長

質問では、高さがジグザクの場合は水の流れはどうなるかや、自動手洗いの蛇口機能はどうなっているかなど、時間いっぱいまで質問が止まらず、講師はその一つ一つに丁寧に答えていた。

出前授業に駆け付けた佐々木議長は、自身も初めて体験する機会について「楽しい授業を皆さんと一緒に勉強したい」と語りかけるとともに激励。また、授業の成功を見届けた岩井会長は「笑ってくれたことが一番」と振り返りつつ喜ぶと、これを弾みに今後の3校における出前授業にもつなげていきたいと次を見据えていた。

連携して応急対応

平久里河口で水防訓練

千建協館山支部・安房土木

地域を災害から守る訓練参加メンバー

県建設業協会館山支部（小宮山房信支部長）と県安房土木事務所（前田尚志所長）は27日、館山市の平久里川河口部で水防訓練を実施した。地震、風水害などの自然災害があった場合、公共土木施設の機能を確保し、連携して応急対応がとれるようにすることが狙いだ。県建設業協会館山支部42人、安房土木事務所21人、館山市1人、南房総市3人、鋸南町6人の職員らが参加した。

小宮山支部長は、「台風・大雨シーズンを控え、一層の防災意識を高めるために、待機・出動態勢の充実と水防・防災訓練に積極的に取り組み、地域の守り手として体制を強化している」と述べた上で、「近隣では大きな災害も発生している。災害訓練の重要性を認識し、地元建設業として行政の一翼を担えるように防災対策を充実させ、いざと言う時、予定の行動がとれる実り多い訓練を期待する」と話した。

川の上流を意識して土のうを積む

前田所長

小宮山支部長

前田所長は訓練の安全と熱中症の注意を呼びかけた。

訓練は、土のうづくりや土のう積みなどを中心とした水防工法の実践。毎年実施されていることから、参加者の作業効率も向上し、川の上流を意識しながら土のうを並べ、被害の拡大防止を図った。

ロープの結び方を再確認する参加者

支部員による土のう作製と土のう積の実演の後、参加者は2人1組で土のう140袋を作製するとともに、緊急時のロープの結び方を確認した。

県建設業協会館山支部からの参加企業は次の通り。

▽アーク▽荒井建設興業▽安房舗装土木▽石井工務店▽和泉建設▽岡部建設▽奥村建設▽加瀬建設▽加藤建設▽川前開発▽黒川建設▽光栄開発▽白幡興業▽鈴木建材興業▽鈴木工務店▽大兼工務店▽大秀工業▽田中建設▽田辺工務店▽手塚工務店▽東海建設▽戸倉商店▽服部▽房総道路▽本多建設▽三平産業▽三浦建設▽睦建設▽森組▽山崎工務店▽渡辺建設▽渡辺建設工業▽市川建設▽佐久間▽森工務店

行事予定

7月1日～7日

●2日㈫＝▽県建設業協会夷隅支部・県との意見交換会（10時、夷隅建設会館）▽県建設業協会長生支部・県との意見交換会（10時、長生合同庁舎）

●3日㈬＝▽県建設業協会香取支部・県との意見交換会（9時45分、香取合同庁舎）▽県建設業協会銚子支部・県との意見交換会（14時、海匝銚子建設会館）

●4日㈭＝▽県建設業協会市原支部・県との意見交換会（9時30分、市原市市民会館）

●5日㈮＝▽県建設業協会鴨川支部・前原海岸の清掃（8時45分、旧鴨川市民会館）▽県建設業協会君津支部・県との意見交換会（13時45分、かずさ建設会館）

●7日㈰＝▽旭市建設業災害対策協力会・海岸清掃（7時30分、飯岡海岸駐車場）

※予定は変更・中止になる可能性があります。お出掛けの際は事前に主催者にご確認下さい。

造園土木工事・造園材料
知事許可（特定）623号
千葉造園土木株式会社
千葉市稲毛区黒砂台２－12－７
☎043－243－7721㈹
FAX043－243－7753
樹木養生場所　匝瑳市東小笹
〃　八街市八街
芝生養生場所　茨城県つくば市

千葉市花島総合公園

WOOD TEC
きれいな水と空気
そして安全な暮らしを考えます。
ウッドテック株式会社
千葉県印西市小林3990-1
TEL：0476-97-2551　FAX：0476-97-2559
URL：http://www.wood-tec.co.jp
印西・千葉
東京・成田